

2016 年度後期 学生授業評価アンケート集計結果に対するコメント

—経済学研究科—

経済学研究科長 岩崎 尚人

大学院の学生による授業評価の本年度後期の結果は、総合的評価が 4.94 であることから、例年同様に、概ね高い評価レベルにあると思われる。

「この授業のレベルはあなたにとって適切であった」(4.56)、「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心掛けた(4.90)」、「授業への教員の熱意を感じた(4.88)」、「教員は発言を・議論等授業参加を積極的に促した(4.93)」などの諸点では、本年度前期(2016 年度前期)と比較して高く評価される傾向にあり、教員がアクティブ・ラーニングを採用するなど教授法の一層の改善の成果であると考えられる。しかし、「教員は授業時間を有効に利用した(4.87)」、「教員の話し方は明瞭であった(4.82)」、「この分野の関心と学力が得られた(4.86)」など、わずかながらポイントを下げている項目があり検討が求められる。